

## アート市場拡大に向けた支援について

【担当省庁】内閣官房、内閣府、文部科学省、経済産業省、財務省

日本のアート市場拡大は国家的課題だが、国内の新たなアート市場創出に向けた取組を支援する制度はないため、以下の措置を講じていただきたい。

- ・令和2年に全国に先駆けて開催することとしている、世界の一流ギャラリーが参画し、日本の伝統工芸から現代アートまでを総合的に取引する「**京都国際アートフェア**」(アート&クラフト)に対する**財政的支援**
- ・海外のギャラリーが日本でアート作品を売買する際の障壁となっている**輸入消費税等の免税手続きの簡素化**

### 【現状・課題等】

- ・世界のアート市場の規模は、約7兆4,000億円(平成30年)に対し、日本は2,460億円と、世界の約3.3%に止まっている。また、日本の中でもマーケットが東京に集中しているのが現状
- ・文化庁は、平成30年からアート市場活性化に向けた取組をはじめたが、現時点では国際展開に関する調査研究や国際的評価を高めるための取組に止まっている。
- ・経済産業省は、例えば地域資源の活用や中小企業等による新商品・サービスの開発、海外販路開拓に対する支援は行っているが、アート市場のような高付加価値市場の創出や作家・作品の海外展開への支援はない。
- ・アート作品を輸入する際には輸入消費税を納める必要がある(売れなかった場合は還付されるが、高額作品だと一時的に相当な負担が生じることになる)。事前に申告すれば免税される制度はあるが、その場合は相応の担保が必要になる。
- ・京都府では、平成29年度からアーティストを主体とした新たな仕組みのアートフェア「ARTISTS' FAIR KYOTO」を開催しており、令和2年には世界の一流ギャラリーが参画する本格的な「京都国際アートフェア」開催を目指している。

京都府 の担当課	文化スポーツ部 文化政策室(075-414-4217) 文化芸術課(075-414-4219)
-------------	--

### 【国の事業等】

#### ■アート市場活性化と現代アートの国際発信【文化庁】 1.92 億円

アート振興のための基盤の整備と日本作家及び現代日本アートの国際的な評価を高めていく活動を展開し、アート市場の活性化と我が国アートの持続的発展を可能とするシステムを形成を目指す。

- ・アート・プラットフォームの形成 0.96 億円
- ・日本アートの国際発信力強化 0.96 億円

#### ■世界のアートフェア(アジア中心)

イベント	開催地	設立年	販売実績	来場数(人)
アートドバイ2018	ドバイ	2007	非公表	28,000
アート台北2018	台北	2009		70,000
アートバーゼル香港2018	香港	2013		80,000
ARTO21 上海2018	上海	2012		70,000
Taipei Dangdai art fair2019	台北	2019		非公表
アートバーゼル2018 <世界最大>	スイス	1970	100億円	92,000
アートフェア東京2019 <日本最大>	東京	2005	29.7億円	60,717

#### ■国内・海外販路開拓強化支援事業【経済産業省】 23.9 億円

国内・海外の販路開拓を後押しするため、地域資源の活用や中小企業者と農林漁業者の連携による新商品・サービスの開発や販路開拓を支援。また、海外展示会出展等を通じて海外でのブランド確立に取り組む事業等を支援

#### ■国際文化芸術発信拠点形成事業【文化庁】 9.58 億円

芸術祭などを中核とし、文化芸術と観光、まちづくり、食、国際交流、福祉、教育、産業その他関連分野と有機的に連携した、国際発信力のある拠点形成を支援

<京都府の採択事業>

「京都アーツ・アンド・クラフツ ワールド発信・流通戦略拠点形成事業」

- ・採択額：30,652 千円
- ・内 容：ARTISTS' FAIR KYOTO、KYOTO KOUGEI WEEK等